

こんにちは **日本共産党**
横浜市議員
古谷やすひこです

古谷やすひこ事務所
2014年号外

〈日本共産党鶴見区事務所〉
横浜市鶴見区潮田町2-120-2
電話 045-504-5121
FAX 045-504-7331

住みよい鶴見にするために



▲二ツ池公園の協同作業会に参加し、オオフサモの除去作業を行いました。(2013年9月)

▶死亡事故が多発している生見尾踏切の調査を行い、JR東日本に改善を要求しました。(2013年10月)



▲全盲の方からの要望を受けて、鶴見駅でのバリアフリー調査を行い、同行した横浜市職員に早急に改善を要求。穴の修理や点字ブロックなどの改善が行われました。(2013年1月)



日本共産党市会議員 古谷やすひこ 鶴見をかける!

市会議員になって以来、たくさんの方からご要望やお困りごとの相談などが寄せられています。それら全てに応えられたわけではありませんが、解決に向けてまっすぐに対応し、皆さんの声を市政に届けてきました。

これからもブレずにスジを通す市会議員として、鶴見区中を駆け回りたいと思います。



放射能汚染から子どもたちを守るために



▲北部汚泥資源化センターを視察し、放射能汚染の下水汚泥焼却灰の保管状況を調査し、議会で質問。11月には地元のみなさんと調査に行きました。(2013年10月)



▲区内の放射能を測定するとともに、原発ゼロを目指して、デモや集会に参加しています。



身近なお困りごとの解決のために



▶「峰の湯暮らしの相談会」開催中! 上末吉のお風呂屋さんをお借りして毎月第2土曜日に開催しています。



▶鶴見区内の様々な要求をまとめて、日本共産党の仲間たちと一緒に年2回、鶴見区に対して交渉を行っています。



地域の安心安全のために

▶自分自身も地域に役に立ちたい!と思い、地元の消防団に入団。夜間の訓練や、お祭りの警備、区の小型ポンプ操法訓練会にも出場しました。



▲「地震・津波・コンビナート災害を考える」シンポジウムを開催し、横浜市の防災上の問題点や改善すべき点などについて報告。みなさんと防災について話し合いました。(2012年6月)

なんでも無料生活相談

介護、子育て、医療、教育、税金等、お気軽にご相談、ご連絡ください。
私、古谷やすひこが真摯に対応します。

携帯電話 ● 090-6528-9414

Eメール ● y-furu3941@triton.ocn.ne.jp

「子育て、老後のくらし」が日本一の横浜鶴見区へ!

横浜市議員古谷やすひこ プロフィール

- 1971年生まれ。何事にもしっかりスジを通す日本共産党の所属です。中央大学法学部法律学科(夜間部)卒業。財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田診療所事務次長、汐田総合病院事務次長などを歴任、現在は同協会顧問。
- 鶴見区矢向1丁目在住。妻と小中学生の男の子3人の5人家族。得意料理は、山芋たっぷりのお好み焼き。趣味は、オートキャンプ! 年に、5〜6回は行きたいですが…なかなか行けなくなりました!
- 好きな作家は、たくさんたくさんいますが、東野圭吾や帯木蓮生、梁石日、久坂羊などなど、ジャンルは問わずとにかく本屋さんをウロウロするのが趣味!
- 日本で1番の「子育て、老後」がすごせる横浜・鶴見を目指して奮闘しています。

私が横浜・鶴見で実現したい事

1. 日本で1番の子育てがしやすい街に
2. 日本で1番の老後がすごせる街に
3. なによりも、笑顔が1番多い街に

国でも横浜でも

日本共産党 VS 自民党

はっきり主張、対案しめす日本共産党

1922年の党創立から主権在民、反戦平和を貫いてきた日本共産党。

夏の参議院選挙で議席を増やした国会では、議席回復した小池晃議員はじめ日本共産党国会議員団が、消費税増税やブラック企業、原発問題などで自民党政権に立ち向かっています。

横浜市政でも、日本共産党市議員団は、自民党にすりよる林市政に対して正面から対決しています。

共産 暮らし優先 VS 自民 大型公共事業

自民党は、9月議会でもアベノミクスとオリンピック開催に便乗した大型開発推進を林市長に迫りました。本牧ふ頭にて5つ目の岸壁整備や高速横浜環状道路の整備、横浜駅周辺の再開発事業「エキサイトよこ



はま22」などです。
しかし市民生活では、県内最低レベルの子ども医療費助成制度、全国でも突出した国民健康保険証の取り上げ数、5000人以上が入所待ちの特別養護老人ホームなどなど、福祉やくらしの面では大きく遅れています。これらをよとしてるのが自民党です。
日本共産党は、福祉、教育、くらしのために税金を最優先して使うべきだと主張してきました。

共産 憲法守り平和教育を VS 自民 “あぶない教科書” 押しつけ



自民党は、戦争を美化し、改憲志向の中学教科書の使用を推し進め、副読本「わかるヨコハマ」の関東大震災時の朝鮮人「虐殺」を「殺害」と書き換えさせ、朝鮮学校への補助の中止を要求。林市長は、自民党の主張をそのまま実施しています。

戦争放棄や基本的人権の尊重をうたった憲法に反し、歴史を捻じ曲げることにつながるこれらの行為に、真面向かおかしいと声をあげ、市長に質してきたのが日本共産党です。

林市長が選挙時に自民党と交わした政策協定では、戦争美化の教科書に賛成する教育委員の任命の約束もあったと報じられています。日本共産党は、教育への政治介入は許されないと、抗議しました。

共産 いまこそ 中学校給食の実施を VS 自民 たくさんに中学校給食を拒否

中学校給食は、全国の8割以上の中学校で実施され、新たに大阪市などでも9月から開始されました。川崎市でも新しく当選した市長が2年先の実施を目指しています。



ところが、横浜市はあくまでも「家庭弁当を基本とする」として、全く中学校給食の実施を考えていません。自民党は、中学校給食の実施を求める請願に対して、「横浜の場合には弁当がかなり定着している」として不採択を主張。給食がないため弁当が定着するのは当然のことです。林市長が中学校給食を実施しないのも、自民党の主張を受け入れてのことでしょうか。
日本共産党は、暖かくて栄養バランスのとれた中学校給食を実施するよう、要求し続けています。

共産 暮らし優先の予算へ 組み替え要求 VS 自民



地上31階建の新市庁舎イメージ（右奥）。左手前はUR本社ビル（既存）（UR都市機構の完成予想図）

林市長は4年前の初当選時には新庁舎建設を急ぐ必要はないとしていたのに、本年3月28日「新市庁舎整備基本構想」を発表し、北仲通南地区への移転、建設へと一気に走り出しました。これも自民党が迫った結果です。

日本共産党は、大型公共事業優先の予算を、福祉、教育、くらし優先に改めるよう、予算組み替え動議を提出してきました。

また、大企業ばかりに発注が集中する大型公共事業ではなく、中小企業に仕事が回る生活関連の公共事業をふやし、医療・介護・環境関連産業などを育成して、市内経済を発展させることを提案しています。

横浜市議会が おかしい！



議員の費用弁償を復活

横浜市議会は「税金の無駄遣い」として2007年に費用弁償を廃止。ところが今年9月、「議員活動の充実に必要不可欠」などの理由で、議員の居住区によって1日1000～3000円の費用弁償を、自民・公明・民主の提案で復活。年間1200万円の支出となる見込みです。

日本共産党は、議員報酬が高いことや復活する理由がないことから反対。費用弁償は受け取っていません。

10月の決算特別委員会の採決は、第一委員会は5分、第二委員会は3分で終了。でも、それだけで、1000～3000円の費用弁償が支給。

1円でも安いスーパー探して駆けまわってる身には信じられない！庶民の気持ちなんかわかるわけないかもね！



別枠の 海外視察費

横浜市議会は当選4年後の改選までの間に1人120万円の海外視察が認められています。実態は国際交流の推進、文化芸術施策や世界文化遺産の調査などと称して観光地を訪れる場合も。



自民党が11月に視察するバルセロナにあるカタルーニャ美術館
出典: ウィキメディア・コモンズ (Wikimedia Commons)
Description: カタルーニャ美術館、バルセロナ
Date: 2007年2月 Author: jeny Permission: GFDL

海外の優れた施策を調査・研究することは大事なことです。本当に必要な海外視察ならば、月額55万円の政務活動費を使えばいいことです。別枠の「海外視察費」による、議員特権ともいえる観光まがいの海外視察は直ちに中止すべきです。



直ちに原発ゼロの社会に！！
消費税増税とTPPに反対！！